

環境庁だより

(臨床環境 4 : 85~86, 1995)

環境庁のアンケート結果について

塚田 三夫

栃木県佐野保健所
(前環境庁環境安全課)

環境保健研究会ではさる平成6年11月から平成7年2月にかけて、臨床環境医学学会員の先生方をはじめとする多数の研究者にご協力をいただきアンケート調査を行ない、318通りのご回答をいただきました。質問内容とその回答は以下のとおりでした。

○調査方法**1. 質問内容**

- (1)環境保健として取り組むべき事項
- (2)震災などの災害対応に関し取り組むべき事項

2. 回答方法

複数記載の自由記述式による回答で、質問票の配布・回収は郵送で行なった。

○回答結果の概要

(4件以上同種の提案があった事項について分類した)

1. 環境保健としてこれから取り組むべき事項としてご提案のあったものの例

電磁波が健康に及ぼす影響
 重金属等の元素
 環境保健教育の推進
 環境保健におけるリスクアセスメント推進
 複合的な曝露
 環境とアレルギーの関係
 排気ガス
 農薬問題
 リスクに関するコミュニケーションの推進

環境保健に関する情報の集積、提供の強化と情報公開
 行政の役割や効率的運用
 紫外線が健康に及ぼす影響
 環境弱者(老人、乳幼児、障害者、妊婦、傷病者)のリスク評価、対策
 食習慣、食生活が健康に与える影響
 花粉症
 地球環境変化が健康に及ぼす影響
 環境及び環境行政の経済的な検討
 環境中の放射線
 疫学調査の推進と重視
 有害物質情報の整理、集積、データベース化
 ダイオキシンへの対応
 環境リスクの総合的な評価と健康影響の可能性のある環境因子の分析
 室内環境が健康に与える影響
 大気汚染物質が健康に与える影響
 都市の安全性と環境保健の視点からの提言
 有害物質の環境中の動態や変化
 環境が精神に与えるストレスなどの影響
 生体の微小変化等による健康指標の開発
 温暖化等の気候が健康に与える影響
 酸性雨
 低濃度曝露の影響
 環境が免疫に与える影響
 有害物質のモニタリング測定技術やシステムの充実
 有害物質の自然浄化、分解
 変異原性、細胞毒性による環境評価
 温泉、入浴と健康との関係
 曝露の予測としての曝露アセスメント

海外における環境保健
物質に関する総合的評価
塩素や洗剤などが健康に与える影響
飲料水が健康に与える影響
環境とアメニティーや感性の関係
環境因子と健康のサーバランス
環境に対する感受性の個体差
音波、超音波と健康との関係
海外の環境保健情報の把握、比較

2. 震災対応に関して環境保健で取り組むべき事項 としてご提案のあったものの例

環境因子と健康影響についてのアセスメント
事前に作成すべき対応マニュアル
環境モニタリングの強化、継続
環境変化の事前予測
適切な情報伝達
災害後に問題点について分析すること
精神的な影響の調査と対策

以上、概要をご報告いたしましたが、臨床環境医学の先生方をはじめとする多数の研究者の調査ご協力に対し紙面をお借りして感謝申し上げます。